

平成26年度東北六県山岳連盟（協会）連絡協議会報告

報告者：佐々木副会長・清野会長

1. 期 日 平成26年5月17日（土）～18日（日）
2. 場 所 秋田県由利本荘市鳥海町猿倉『鳥海荘』
3. 出席者 青森岳連 服部会長・川端理事長
岩手山協 高橋会長・鈴木副会長・小山理事長・遠藤事務局長
宮城岳連 相沢会長・佐藤副会長
福島岳連 尾形会長・三森副会長・佐藤理事長
山形岳連 清野会長・佐々木副会長
秋田岳連 斎藤会長・荘司、畠山副会長・佐藤理事長・斎藤副理事長
浦山、大友常任理事 等20名出席
4. 内 容
秋田岳連幸鶴理事長の進行で開会、斎藤秋田岳連会長がこの4月から佐々木会長から引き継ぎ会長職を担う事となった。時節がら多忙な時期来県に対する感謝の辞、この会議の趣旨を理解して意義のある会議となるようにとの挨拶があった。
全体会議に入り、参加者の自己紹介、更に当該年度東北ブロック選出理事の岩手山協会長高橋会長から日山協理事会の報告が資料により報告された。
 - 1) 日山協報告について
内容は平成25年度事業報告、平成25年度収支決算、平成26年度付帯決議事項、正会員の承認、賛助会員の承認、登録選手規程の改正、国体山岳競技規程、運営規程の改正、その他継続審議となったもの、その他報告事項について報告があった。
(詳細は登山月報に記載)
 - 2) 東北地区選出理事の改選について
現理事の任期(27年3月)満了に伴い、東北地区選出申し合わせにより秋田県岳連斎藤会長が2年就任することを確認した。
 - 3) 東北六県共通諸行事について
①第41回東北総合体育大会について、福島岳連から資料により説明、
 - 4) その他 各県の運営状況について意見交換が行われた。
 - ①青森岳連から26年度東部地区中高年安全登山指導者講習会の開催について説明。
 - ②宮城岳連から27年開催予定の全日本登山大会について日山協と協議について説明。
 - ③山形岳連から平成26年度事業計画と連休中の飯豊の遭難事故、昨年の豪雨による飯豊登山飯豊町側の状況について、県内の避難小屋の現状について近況報告、

山岳文化学会地方講演会開催について説明。

④福島岳連から創設60周年記念事業と記念誌発刊、記念式典8月開催予定の説明。

⑤秋田岳連から26年度事業の説明、山スキー大会、ボルダリング大会について説明。

⑥岩手山協から26年度事業の説明、国体会場地の整備状況について説明

翌日、5月18日午前9時から10時30分まで昨日の課題について引き続き意見交換。

岩手山協高橋会長から、先の日山協理事会のワーキンググループの取り組み状況について説明があり、このことについて各県から意見の集約が行われ特に話題となったことは以下のとおり。

- 1) 『競技部』の国際クライミング連盟のルールに準拠した新たな組織づくりとは何を指すのか。新たな組織を作るのか。
- 2) 個人会員制度の導入について、東北六県の現状は青森、秋田、山形が制度と規約により導入している状況がり、その他の県は未導入の現状を意見交換した。
- 3) 全日本登山大会のあり方、来年宮城の大会から導入を検討していることに対する、開催県の現状について話われた。

5、閉会行事

開催県の斎藤会長からお礼の挨拶。

次期開催県山形岳連清野会長から、次期開催は同じ時期の開催となる、交通の利便性や東北六県にふさわしい場所を選定して開催するむね挨拶があり午前10時30分閉会。

文責：清野